

「緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドライン」

対応状況公開資料(概要版)

公開日：平成 28 年 7 月 13 日

最終更新日：平成 28 年 7 月 13 日

株式会社かなめ技術開発
予報業務許可第 190 号（地震動）

本資料は、平成 23 年 4 月 22 日に気象庁から公開された「緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドライン」への当社地震動予報業務許可（許可第 190 号）を使用している製品の対応状況を公開するものです。「予報業務の許可等に関する審査基準、標準処理期間及び処分基準（通達）」（平成 24 年 2 月 23 日制定、平成 24 年 3 月 1 日適用）では、許可事業者は利用者にガイドラインの「端末利用者が施す措置の一覧表」掲載の各項目に対する対応状況について利用者に十分な説明を行うことが義務づけられました。本資料は、それらに対する適合状況を公開するものです。

製品名	緊急地震速報・津波情報制御 Tacy-Quick II ／簡易表示ソフト Tacy-Quick Light
製造年月日	平成 28 年 6 月
提供形態	株式会社高見沢サイバネティックスから販売
動作環境	Tacy-Quick II ：Windows PC 上で動作するサービスプログラム。Windows PC にインストールされた状態で販売。 Tacy-Quick Light ：Windows PC 上で動作するソフトウェア。 Tacy-Quick II から緊急地震速報（予報）の再配信を受けて表示する。 対応可能配信事業者：スカパーJSAT 株式会社
使用目的	Tacy-Quick II ：A. 機械・館内放送設備等の自動制御 B. オペレータを介した機械・館内放送設備等の制御 Tacy-Quick Light ：C. 端末の報知による人の危険回避

	項目	適合状況説明	備考
1	気象庁が緊急地震速報(予報)を発表してから端末が報知または制御を開始するまでに要する時間	気象業務支援センターが緊急地震速報(予報)を配信してから端末に緊急地震速報(予報)が届き、画面表示を開始するまでに要する時間は1秒以下です。	詳細版の(1)-2, (4)-1を参照。
2	気象庁から端末まで、配信をときれさせないような対策	配信サーバーは2台1組の構成で、各サーバーはそれぞれ別回線で気象業務支援センターから緊急地震速報(予報)を受信しています。 また、端末は自己診断機能により異常を検知した場合には、接点出力や表示端末への出力、メール出力等により通知を行います。	端末の自己診断機能については、詳細版の(1)-1, 7を参照。
3	時刻合わせ	端末は配信サーバーから送信される時刻情報を使って時刻校正します。 配信サーバーの時刻校正については、GPSに基づく正確な時刻情報で校正を行っています。	端末の時刻校正機能については、詳細版の(2)-2を参照。 配信サーバーの時刻校正機能については、詳細版の(4)-6を参照。
4	配信・許可事業者によるサポート	配信に関する問い合わせ、端末に関する連絡や利用に関するサポートは販売代理店が行っています。配信事業者と販売代理店、許可事業者である当社の連携によりサポートを実施しています。	サポート内容の詳細については、詳細版の(5)-1から8を参照。
5	耐震固定等地震の揺れへの対策	サービスがインストールされたパソコンを、耐震固定具等を利用して固定してください。	詳細版(1)-6に記載。
6	無停電化	サービスがインストールされたパソコンに無停電電源装置等を接続して対応することが可能ですが、無停電化される場合は周辺通信機器等パソコン以外の機器についても必要です。	導入時に相談いたします。
7	端末の冗長化	常時2系統動作、ホットスタンバイ、コールドスタンバイ等の冗長化構成をご提案することは可能です。	導入時に相談いたします。
8	回線 常時接続できる回線 専用線などの信頼性の高い回線	本製品は、スカパーJSAT 株式会社の SafetyBird サービスを利用します。スカパーJSAT～端末は、衛星専用線で接続します。	
9	サーバー端末間の物理回線の冗長化	なし。	
10	予想した猶予時間	猶予時間の設定機能はありません。主要動到達が過ぎた情報でも出力します。ただし、3分以上前の古い電文については破棄します。予想した猶予時間は簡易表	詳細版(3)-1, (3)-4に記載。

		示ソフトでカウントダウン表示を行います。	
1 1	予想した震度	端末を動作させる震度の設定機能はあります。緊急地震速報（警報）と整合した動作も可能です。	詳細版(3)-1, 2, 4 を参照。
1 2	精度情報	設定機能があります。起動条件は、「1点処理の情報も使う」「2点以上処理の情報のみ使用」「警報対象時のみ使用」の中から選択します。 簡易表示ソフトの表示画面ではどの条件で表示しているかは示しません。100ガル超えでは震度の予想ができないため、震度の表示を行いません。	詳細版(1)-12, (3)-5, 6 を参照。
1 3	深発地震についての緊急地震速報（業）	震源の深さが 200km より深いものについては震度予想を行わず、接点出力は行いません。また、簡易表示ソフトでは予想震度の画面表示を行いません。	詳細版(3)-9 に記載。
1 4	放送・報知内容	簡易表示ソフトでは、予想した震度と猶予時間は画面表示で報知します。外部出力機能はありません。PC から音を出すことは可能で、報知音として REIC のサイン音が内蔵されており、選択することができます。このほかに利用者が WAV 形式の音源ファイルを用意することで、独自の音を指定することも可能です。	詳細版(1)-8, (3)-3, 4 を参照。
1 5	緊急地震速報（業）で制御、放送、報知を行った後に同一地震または別の地震について提供される緊急地震速報（業）	接点出力では、一度出力条件を満たした地震に関する緊急地震速報（予報）の続報を受信した場合には出力を行いません。後から受信した別の地震の緊急地震速報（業）で出力条件を満たした場合は出力を行います。 簡易表示ソフトでは、一度起動条件を満たした地震に関する緊急地震速報（予報）の続報を受信した場合には、表示画面は常に新しいものに更新されます。後から受信した別の地震の緊急地震速報（業）でも出力条件を満たした場合は、新しいものの表示に入れ替わります。これらの動作について利用者は設定できません。	詳細版(3)-7, 8 に記載。
1 6	キャンセル報	既に出力を行った地震に関してキャンセル報を受信した場合には、キャンセル出力を行います。出力していない緊急地震速報（予報）に関するキャンセル報を受信しても何もありません。	詳細版(3)-10 に記載。
1 7	試験	配信事業者が用意している利用者専用の Web 画面から、テスト報を使って全ての出力をテストすることが可能です。簡易表示ソフトの画面表示では、それがテスト報であると分かる表示を行います。	端末機能については、詳細版(1)-9,(3)-12 に記載。 配信事業者のテスト報配信については、詳細版(4)-9 を参照。
1 8	訓練	端末は配信事業者から配信される訓練報を出力する機能を搭載しています。簡易表示ソフトの画面表示では、それが訓練報であると分かる表示を行います。訓練	端末機能については、詳細版(1)-10,(3)-11 に記載。

緊急地震速報・津波情報制御 Tacy-Quick II／簡易表示ソフト Tacy-Quick Light

		報を動作に使うかどうかは出力条件として設定することができます。	配信事業者の訓練報個別配信については、詳細版(4)-9を参照。
19	配信・許可事業者への連絡	配信に関する問い合わせは配信事業者と利用者の中で直接行います。また、端末に関する連絡や利用に関するサポートは販売代理店が行います。	サポート内容の詳細については、詳細版の(5)-1から8を参照。

以上

更新履歴

平成 28 年 7 月 13 日	Version 1	初版
------------------	-----------	----